

寺報

龍正寺

日なた 98号

盃蘭盆会

御先祖様の供養

第一なソ

日
延



<平成28年 7月>

宝 龍 会
護 持 会

往職一言

ようやく梅雨も終わりに近づき、暑々毎日が初まり
ました、そしてお盆を迎える時期になりました。

地域によっては、7月、あるいは8月です。どちらも
盂蘭盆会です。

「目蓮入聖人御遺文盂蘭盆御書」

『目連尊者が法華經を信じまいとせし、大善は我
身仏に成るのみならず父母仏に成り給』

目連尊者の母親が地獄で苦しみ、水、食物を届け
ると、またたくまに火に落ちてしまい、目連尊者は
お釈迦様に尋ねられ、お教えを頂き、自分の母親
だけを救おうとせず、成仏の出来ていない魂
(精霊)を救ってあげなさい、お坊さんにお経を上げ
てもらい、百味の飲食をお供えし、お布施をし
なさい。

お教えの通りに実行された、目連尊者は母親を成仏
させられた、事から盂蘭盆会の初めで、今日まで
つづいていゝる大事な行事です。

私たちは、自分一人で生まれて来たのではありません、この世に誕生するには、父親があり、母親があり、そして御先祖様がいらしたから、今の自分がこの世にあるのです。

だからこそ家族と共に、子孫として感謝を
めて、盂蘭盆会の供養をしましょう。

合 掌

南無妙法蓮華経……

主人の還暦

今年、主人が還暦を迎える事が出来ました。

まだまだ若いと思っていた主人でしたが、白髪も増え大病も乗り越えてきた主人に“お疲れ様です。”と心から感謝したいと思います。

そして、長〜い夫婦生活の中で山あり谷あり、いくつもの試練をお互い乗り越えてこれたのも、法華経・日蓮大聖人のお教えそしてその導きを頂けたお寺のおかげです。

若い頃は相手の立場や思いを考えずに、自分の思いを優先して、自分の考えが正しいと思い込み、お互いぶっかかりあっていました。

若いとエネルギーがありあまっていますから …。

相手が傷つくまで追い込む事もありました。

しかし、長い年月の間にそのようなエネルギーを、異なるエネルギーに変える事が出来るようになり、ひとつ歳を取るたびに心が穏やかになりました。

自分の気持ちを上手にコントロールして、相手の立場
になって考えてみると、"あ、そうか、そんな気持ちだった
のか。"とわかりあえるきっかけがみっかります。

そして...心に余裕がもてるようになります。

ムダに心が乱れる事もなく、上手に家族・友人等
と関われるようになります。

今私は歳をとる事も悪くないな~!と思います。

還暦は第2回目のスタート地点です。晩年に向って彼
かどのような人生を描いていくのかな、私もパートナー
としてどのような人生を一緒に歩みましょうか？

言える事は、どのような人生であれ、法華経と御題目
を唱える私達は必ず幸せです。

主人の為に家族が還暦の宴を開いてくれました。その家族
の思いに感謝して、彼は夫・父・祖父として、かこ良
い人生を歩んでほしいと思います。私もその彼の良き
パートナーとして、胸をはってかこよく生きていけるよ
うに、日々精進したいと思います。

「気を利かす」

お寺で、手を合わせていた時のことでした。

「今日も1日勉強させていたいただきました。ありがとうございます。」とバの中で言っていたのですが、ふとした瞬間に“**気を使うのではなく、気を利かす**”という言葉が脳裏を過るのです。

何かのメッセージだったなあと思った時、その日の仕事の事が思い出されました。

仕事中、気を利かせてもらい助かったことを、思い出したのです。

痛い所に手が届くと言った感じでしょうか、自分が慌えている、周りが見えてない状況の中で、何気に手を差し伸べるという感じでした。

その状況を思い出していると、もう1つ仕事中に起こった嫌な出来事の事も思い出され、もしかして何かつたあがっているのではないかと思わずにはいられ

ませんでした。

嫌な出来事とは、仕事で、自分の伝え方が足りなかったために、相手に不愉快な思いをさせてしまい、相手より嫌味な言葉を言われたのでけ。

自己反省するものの、相手に対して、もう少し言い方があるんじゃないのと相手のせいになっている部分が気持ちのうえでありました。

お二人にその日の出来事を話した所、「気を利かすのは大人として当たり前、嫌な言葉を受けただけのは、だれのせいでもない自分に原因がある、その結果」と...

私には、まだまだ気を利かす事が足りないのと、教えられたのとだと思います。

気を利かせれる人は、伝え方も上手だと思います。相手が不愉快にならず、でも言うべきことは言うところで言葉のボキャブラリーを増やし、気の利いた言葉で物事が伝えられるように頑張りたいと思います。

熊本災害ボランティア活動に参加して

熊本地震から一ヶ月程経過した5月半ば頃、娘と一緒に熊本でのボランティア活動に参加させていただきました。

週末を理用して0泊3日という行程でバス一台、45名のメンバーでした。18才の女子学生から78才の男性までの老若男女で熊本に向けて出発しました。

今回は7件の農家のお手伝いという事でした。地震に襲われた時期は農家の方にとって大切な時だったので苗がだめになってしまったり、田んぼが出来なくなったり、働き手のご主人が地震による怪我で入院されて、残っている苗や無事だった火田の作業も出来なくなっている、というお話でした。

私はMさんの火田の草とりをする事になりました。Mさんの車で火田へ向かう道中、Mさんが岐阜の運送会社の社員である事とか同じ班のメンバーが比較的近所同士だったことがわかって短い時間には急に距離感が急縮まった気がしました。

火田にはキャベツとブロッコリーが元気に育っていました。小雨でしたが空の高い所では鳥(ひばり?)が鳴いていて目前には阿蘇山、周辺は山や火田が広がるのどかな風景でした。ただその中にブルーシートで覆われた屋根の家や仮設住宅の工事の重機の姿がありました。

私たち4人は黙々と草とりをしました。一步一步進みながら時々体を走らせて前を見るとキャベツの長い列が遠くの方まで続いています。痛くなった腰を伸ばして、それから草をとった自分の後ろのキャベツの列を見て、気合を入れて又作業をしました。

昼近くなった頃、雨が強くなってきました。着替えやおにぎりが入っているカバンが心配になっていたらMさんが来て下りビニールハウスの枠にシートをかけて屋根をつくって下さいました。雨水をためて手を洗って、とバケツも置いて下さいました。

コンビニでお茶とお菓子も買って来て下さって、私たちはMさんに気をかわせてしまって申し訳ないと思いましたが班のリーダーの方が「せっかくなのでいただきます」とおっしゃって

Mさんと一緒に お茶の時間をいただきました。

班長の方が 火田の事で Mさんに 質問されました。
火田はいつもの 5分の1しか出来ていない、と話して下さいました。
今でも 車中泊だよ、と言われてました。

水は一週間前にやって出るようになったそうです。
子どもさんは 地震の後、一人で お風呂に入れなくなった、等。
ほっこり ほっこり と話して下さいました。

私たちは ほとんど何も言うことも出来ずにいました。でもお話が
聞けたことが良かった、と思えました。

過酷な体験をされているのに、グチのような事は一言もおっしゃい
ませんでした。

昼食後の作業は 本降りの雨の中でやることになりました。

草をとる度に泥がはねて もう全身泥まみれでした。火田で誰かと
近くで目が合うと、泥だらけの上に、足、腰が言うことをきかなくなって
ぎこちない動作のお互いの姿に 思わず笑ってしまいました。

私ももうキャベツに尻もちをつくか、前にかがんだ時にキャベツに
頭をつっこむのではなにかと思うくらい、体が思うようにならなくな
ってました。それでも たんとか元氣張ろうと ロボットのように
体の部品を一つずつ動かしながら 気が付くと

南無妙、法、蓮、華、経!! とつぶやいていました。

お題目をつぶやくと体が動いてくれるように感じました。

どうかキャベツが無事に育って出荷されますように。

熊本の地震が早くおさまりますように。と願ひもこめて
作業が出来ました。

作業をなんとか終えると Mさんは “自分がやるよりきれいに
してもらって ありがとう、” と言って下さいました。

私たちは 一人一人 Mさんと握手をして バスに乗りました。

今回の活動では 自分のした事は あまりにも小さな事で
あまり お役に立てた気持ちにはなれませんでした。

たった一日滞在しただけで とうなるものではない事は
わがっていたのですが。

ただ行きのバスとは違って すっかり緊張感も溶け、リラックス
した気持ちで 帰路につきました。

活動に参加して良かった事は、熊本での出来事や人たちの事をTVの画像や言葉で知るよりも、実際に足を運んだから目にしたり、聞こえてくる声がある事を知った事で、身近に感じて考える事が出来たことでした。報道されている事が全てではないという事や間違った情報が届くことさえあるという事も知りました。

自分が活動に参加して、知らない人ばかりと一緒にバスの狭い空間で気を~~使~~いながら過ぎている時は避難所の事を想像しました。

バスで夜を過ぎている時、窓際からもれてくる冷たい空気で眠れずにいる時は車中泊をされている方の事を思いました。

サービスエリアの洗面台で朝、口がすすげる。

活動後、お風呂を使わせていただいた事。

普段はあたり前に思っている事がありがたく感じました。

避難所の方が温かいものが欲しいとおっしゃる気持ちも少しはわかりました。

このように感じられた事が自分にとっていい経験でした。

農作業をさせていただいた西原村の皆さん。ありがとうございます。

被害の大きかった益城町もバスで通りました。

帰ってからはニュースで地知が耳に入ると以前よりも感心を持って見えています。

小さな事しか出来ないですが、又、機会があれば活動に参加したいと思います。

熊本の皆さん、ボランティアセンターの皆さん、それから余震の事を心配しながら送り出してくれた家族と一緒に活動に参加してくれた娘に感謝です。

そして何より、もうこれ以上無理かも、という時に私の体を動かしてくれたお題目の力を感じられた事と、熊本の大地でお題目を唱えられた事をうれしく思いました。

～あの時のキャベツは無事に出荷されたのかな？～

< 7月の行事予定 >

7/10 (日) 午後1時より 宗祖日蓮聖人報恩会
盂蘭盆施餓鬼大法要

7/18 (月) 午前10時より 鬼子母尊神 祈禱会
七面大明神

< 7月住職予定 >

当山にて法務

< 7月の予定 >

6/26 ~ 7/8 各々の時間で 清掃・準備

7/9 (土) 午前10時より 飾り付け・準備

7/11 ~ 7/17 各々の時間で 清掃・準備

🌸 お知らせ

10月の御会式会に向けて御万燈のお花の準備をさせて頂きます。ご参詣の折に1つでもお花を付けて、日蓮様に素敵なお供えをさせて頂きませんか?!